



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

策 新型コロナウイルス感染症対

コロナ禍で地域経済、社会活動にも大きな影響

- Q** ①市内の経済・社会活動への影響は？
- Q** ②感染拡大防止への支援状況は？児童関係者への慰労金給付の考えは？
- Q** ③市民への影響や雇用状況は？
- Q** ④地方創生臨時交付金と算定方法は？
- Q** ⑤市財政への影響と今後の見通し。市財政調整基金の状況、今後の見通しと島原市の基金の適正規模は？
- Q** ⑥市独自の支援対策は？
- A** ① 4～7月宿泊者数が前年比54%減等、市内経済全般に大きな影響。各種行事は新生活様式に沿い、前向き推進したい。
- A** ② マスク、フェイスマスク、消毒液、石鹸等を配布。慰労金は現在、財政的に厳しく予定していない。
- A** ③ 市民生活に影響があり、緊急小口資金が109件、総合支援資金が30件の貸付。有効求人倍率は昨年1.2倍が0.86倍に低下している。

- A** ④ 一次・二次補正合計約8億1398万2千円。人口、財政力、感染状況等で国が算定。
- A** ⑤ 地域経済活動の縮小で市財政運営に大きな影響。市の財政調整基金は約4億円。島原市の適正規模(約11億円)の確保に努めたい。
- A** ⑥ 実施中の対策も効果を検証しながら市民への事業も検討したい。

地域高規格道路「島原道路」の島原区域の進捗は

広域農道沿いに目に見えてきた、様々な道路工事(出平～有明)

- Q** 「出平有明バイパス」の進捗と今後の見通しは？(用地取得、事業費と予算執行、完成目標年度)
- A** 全体で約8割の地権者と契約済み。延長3.4kmのうち、1.1kmで橋梁、擁壁工事等に着手。総工費75億円のうち約56億円を執行し、約75%の進捗状況。区域の完成目標年度は令和4年度を見込む。

島原市有明町の「合併記念碑」の行方と今後の対応は(平成18年1月1日設置)

- A** 現在、新庁舎建設のため、大手町の市有地に保管中。
- 市庁舎下駐車場の全面完成後に国道交差点付近に移設したい。

【その他の質問項目】

- ◇行事や各種計画について
- ◇学校の感染予防対策について



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

島原道路沿い・有明工区内に「道の駅 しまばら」を!

- Q** 島原は観光と農産の街である。魅力発信と防災機能などを併せた多機能な道の駅構想が出来ないか。
- A** 道路延伸で多くの人が往来する島原道路の途中にトイレ休憩の目的もある。農水省では6次化、国交省は防災道の駅として全国展開しようとしている。島原半島、島原市内にどのようなものが展開可能か、調査や関係者との勉強会などが必要と考える。

- Q** 道の駅設置の判断材料として、まずは諸調査の実施が出来ないか？
- A** J Aや既存の販売店の考えや、農地の確保など諸問題もあるので、勉強会や調査を実施し、総合的に判断することは可能だと思ふ。

新設される予定の病児保育施設

- Q** 病児・病後児保育の現状と保護者からの声は。

- A** 病後児保育は4園あるが、病児保育施設は無かった。共働き家庭をはじめ議会からも開設の要望があっていた。

- Q** 新設される施設の場所や内容は。
- A** 開設場所は島原外港インターを降りた所で、小児科医院に併設し、病児保育の受け入れは最大6人。来年5月完成に向け準備中。

走り出したコミュニティバスもっと利用拡大へ

- Q** 利用者、未利用者からの声は。
- A** 免許返納後の移動手段、シニアカーより便利、病院へ行ける等の声がある一方で、予約が面倒、定期運行してほしいなどの声がある。

- Q** 利用者拡大への課題と今後の取組は。
- A** 予約の方法や利便性向上へ向け、現在関係機関と協議中である。

一号機関車 復刻構想の継続を

- Q** 島原半島観光の活性化につながると思うが、島鉄の意向と島原市の考えはどうか。
- A** コロナ禍で議論を見合わせている。観光列車の導入に向けた機運の灯を消さないように情報発信に努めたい。